

2021年12月10日 第123号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

電機・情報ユニオン

三菱電機は監禁部屋を撤去せよ



11月10日(水)厚労省記者クラブでの記者会見

11月10日(水)、三菱電機の漆間啓社長に対して、女子労働者の監禁部屋・追い出し部屋および監視カメラを撤去する申入れを行ったことを厚労省記者クラブで記者会見しました。朝日新聞、NHKなど9

社10人の記者が取材しました。

米田徳治中央執行委員長は冒頭、「女性労働者は、よく生きて私

たち電機・情報ユニオンにたどりついてくれた」と述べ、女性労働者の2001

年から15年間にわたる出向のたらい回しとセクハラ被害、2017

年からの監禁部屋や監視カメラについて告発しました(概要は右下欄をご参照ください)。そして、「追い

出し部屋を通り越して、労働基準法第5条違反の『監禁部屋』だ。女性が安心して働けるよう、たたかいを

広め強めていく」と強調しました。

女性労働者は「まるで拷問や虐待を受けているよう

だ。隔離部屋、監禁部屋だ」と訴えました。記者会見の内容を、しん

監禁部屋・追い出し部屋と監視カメラの概要と申入れ内容

女性労働者・当組合員は、2001年7月以来15年間にわたって、関連子会社への出向、関係会社への二重出向、さらに出向先でのパワハラ、セクハラに苦しめられてきました。

2017年4月に出向が解除され、三菱電機インフォメーションシステム業務部の業務部長付けに配属。勤務場所は、鎌倉製作所(鎌倉市)にある9工場3階の物置部屋を改造したと思われる6畳程度の個室、いわゆる監禁部屋・追い出し部屋でした。また、監禁部屋出入り口の廊下には出入りを監視するカメラが設置され常時監視されてきました。

監禁部屋・追い出し部屋は、

①部屋は冷暖房空調設備がなく、窓の換気扇はヒールで塞がれている。

②電話器は設置されていない。などの劣悪な労働環境でした。

配属直後、監禁部屋の劣悪な労働環境により、熱中症などで3回救急搬送された後、床に使い古しのじゅうたんが敷かれ、エアコンと総務課だけに通話できる内線電話が設置されました。

当ユニオンは、三菱電機に対し、2点を申し入れました。

①直ちに当組合員が就労する監禁部屋・追い出し部屋の撤去と監視カメラを撤去すること。

②当組合員を適切な勤務場所に移動し、適切な業務に配置し、貴社「職場風土改革プログラム」に則り人権侵害は行わないこと。

政会館で開催し、社会的世論と運動を広げていきます。

第123号の紹介

- 1面 三菱電機は監禁部屋を撤去せよ
- 2面 茨城支部第9回定期大会
米田委員長メッセージ99
- 3面 愛知支部第7回定期大会
東京支部第51回組合員の集い
- 4面 告知板、あとがき

ぶん赤旗、朝日新聞、弁護士ドットコム、弁護士JPNなどが報道し、日本共産党の志位和夫委員長が「こんな甚だしい人権蹂躪が、21世紀の日本で行われていることを、絶対に許してはなりません。」とツイートをするなど、大きな反響を呼んでいます。

12月18日(土)には、「三菱電機女性労働者の実態を知り、たたかいを支援する集会」を東京都南部労

職場と地域からの共同した運動を前進させよう 茨城支部第9回定期大会

茨城支部は11月28日(日)に第9回定期大会をワークプラザ勝田研修室で開催しました。参加者は12名でした。

雇用不安、地域経済の衰退、人口減少など深刻な影響に職場と地域からの共同した運動とたたかいを前進させよう」と呼びかけました。

次委員長が電機産業、特に日立のリストラ経営と職場の実態とたたかひ、運動方針の大会議案を提案しました。

前配布での労働者の状況と

反応などの報告や発言が行われました。その後、討論のまとめがあり議案を拍手で承認、採択しました。次期役員提案では新たに執行委員1名を補充した、5名体制の支部執行委員会を選出しました。最後に、ユニオン本部の10年の活動に学び、茨城でも国際労働基準と人権が守られる職場をつくっていくと、頑張ろうを三唱して終了しました。(茨城支部書記長 堀啓二)

冒頭挨拶で大内健次執行委員長は「今期は念願であった『日立リストラ茨城対策会議』を立ち上げて2回の『労働法はわたしたちの味方』学習交流会を開催した。労働法を武器に連帯・団結して職場と社会を変えようと新たに現職労働者を迎え入れた。県北地域での事業再編・売却切り捨てによる

来賓として、日本共産党の田谷武夫県副委員長、福田明北部地区委員長、宇田貴子ひたちなか市議、千葉達夫日立市議より連帯の挨拶をいただきました。茨城労連の白石勝巳議長の連帯メッセージも読み上げられ紹介されました。活動報告と会計報告を堀啓一書記長が行い、大内健

討論では、在宅勤務・テレワークでの劣悪な作業環境、在宅勤務手当と通勤手当による矛盾への職場要求、社員食堂などの福利厚生施策の低減、早期退職募集による品質低下への危惧、他団体との協力・共同の取り組みの進め方、既存の日立労組との関係、現在取り組み中の要求アンケートの門



11月28日(日)茨城支部第9回定期大会

三菱電機で前代未聞の監禁部屋、監視カメラ

米田委員長メッセージ99

11月10日午前、三菱電機漆間啓社長に対して本社で「監禁部屋(追い出し部屋)及び監視カメラ撤去の申入れ」を行いました。

オン組合員として団体交渉を申し入れていました。よく生きて電機・情報ユニオンにたどりついてくれた

女性組合員は、2001年7月以来15年間にわたって、関連子会社への出向、関係会社への二重出向、さらに関連会社への出向の中でパワハラセクハラに苦しめられてきました。2017年4月に出向先から解除

され、三菱電機本店直轄のIT部門のインフォメーションシステム業務部の業務部長付に配属。勤務就労場所は、三菱電機の鎌倉市上町屋325敷地内にある「9工場3階」(フロア全体は、他社事務室だけ)階段わきのゴミ捨て場の片隅にある倉庫・物置部屋を改造した6畳程度の密閉した個室。いわゆる監禁部屋・追い出し部屋です。また、

監禁部屋の出入り口の廊下にカメラが設置され常時監視していました。信じられない事実を、11月10日午後、厚労省記者クラブで発表しました。私は、記者会見で開口一番、「女性労働者が追い出し部屋を通り越して監禁部屋に入れられ、精神疾患に追い込まれながらも、よく生きて私たちが電機・情報ユニオンの門をたたいてくれ

監視部屋に入れられ、監視カメラで監視されていたのは、9月初めに電機・情報ユニオンを訪れた三菱電機女性社員です。精神疾患で休職に追い込まれ、休職満了が過ぎ再延長最中、9月13日には電機・情報ユニ

「9工場3階」(フロア全体は、他社事務室だけ)階段わきのゴミ捨て場の片隅にある倉庫・物置部屋を改造した6畳程度の密閉した個室。いわゆる監禁部屋・追い出し部屋です。また、

「9工場3階」(フロア全体は、他社事務室だけ)階段わきのゴミ捨て場の片隅にある倉庫・物置部屋を改造した6畳程度の密閉した個室。いわゆる監禁部屋・追い出し部屋です。また、

私は、記者会見で開口一番、「女性労働者が追い出し部屋を通り越して監禁部屋に入れられ、精神疾患に追い込まれながらも、よく生きて私たちが電機・情報ユニオンの門をたたいてくれ

た」と報告しました。監視カメラは男女トイレ前にも設置され、一人一人の女性の出入りを記録したデータも公表し、これらのデータは三菱電機人事部門が主導にして作れていることも明らかにしました。しかし、朝日、読売などは報道せず、「しんぶん赤旗」が一面で報道してくれました。おかげで、世間に明るみ

要求に基づく運動で発展している 愛知支部第7回定期大会

愛知支部は11月6日(土)、愛知民主会館で第7回定期大会を開催し、スカイプでの3名含め12名が参加しました。

開会にあたって成木彦朗執行委員長は「愛知支部が派遣切り争議の解決めざし発足してから6年、ヒューマントラスト、日立ヘルスケアとの団交や三菱電機との団交まで発展し、三菱関連でも団交が予定されるなど、要求に基づく運動で発展してきた。これからも門前ピラなどで要求をつかみ要求をもとに闘えばさらに発展できる」とあいさつ。

来賓の愛労連の西尾美沙子議長は、自らの争議で日立争議とも協力して運動を進めてきた経験を語り、要求実現をめざしともに闘ってほしいと、連帯のあいさつをいただきました。

三菱電機派遣切り争議を勝たせる会の本田直子事務局長は、専門分野である物理学を引用しながら、「三菱電機という大きな岩がいろんな角度から小さな力が繰り返し加えられたことで振り子のようにいま揺れ動いている。さらに力を加えて岩を動かそう」と話されました。

今回、初めて大木一訓先生からもメッセージをいただきました。

大会は、活動報告を藤崎俊子書記長、方針を成木彦朗委員長、財政報告を新田執行委員が行い、討議に入りました。

M組合員は、先日社内で行われた「ハラズメント防止教育」が2020年度で三菱電機グループで330件ものパワハラ相談件数があり、解決済みの件数が214件となっているが「問題なし」として、対応しなかったものも「解決済」としているの



11月6日(土) 愛知支部第7回定期大会

はないかと発言。愛知争議団の事務局長をしている植木さんは、弁護

士が中心となる団交の問題点を指摘し、不誠実団交との闘いが重要と発言。藤崎俊子書記長は、三菱電機本社(鎌倉)のパワハラと監禁部屋について紹介しました。

スカイプで参加した黍原さんは家庭事情で中々外には出かけられないが、三菱電機を揺り動かしている支部の取り組みにがんばっているなど激励の発言。初参加の久保さんは日立の門前ピラを取り組んでいくことを紹介しました。

組合員拡大を決議し、最後に第7期の新執行委員を選出しました。(愛知支部書記長 藤崎 俊子)

職場の実態と取組みを交流

東京支部は、11月21日(日)14時オンライン「第51回組合員の集い」を15人で開催しました。

最初に米田徳治委員長から「9月19日開催の本部大会後に三役会議と中執会議、東京支部大会と連続して重要な討議が行われた。組合員のつどいは、8月から3ヶ月を経て情勢の変化があり、

11月に公開された電機各社の上期決算は増収増益であるが、各社で個別リストラが展開されており、沖電気では赤字決算などではより深刻。日立のCSR不正での対応策、富士通の最低賃金で働かされる実態、NECの60才で再雇用をせずに退職させる、三菱電機の監禁部屋と監視カメラの撤退

東京支部第51回組合員の集い

を求める取り組み、ユニオン結成10年誌の普及の重要性」などを報告しました。

組合員の交流では、「NEC分会では、現職の組合員から定年時再雇用ができないと言われて退職させられた労働者が数人いたとの報告をうけ、放置できない重要な問題として実態調査をすることになった」「ル

ネサスでは22年3月に年間一時金が支給されるが、あまりにも大幅な格差についてHPでのツイッターで社員に呼びかけ、フォロー数が増加している」「富士通では再雇用の時給が地域最賃となっており、10月1日から時給28円増額されたの上乗せを求めたら、時間額32円相当の手当てがある

ので問題ないと回答したので労働局に申告し、株主として社長への要望書を届けるなどの取り組みを展開する」「富士ファイルムでは、日立に売却されたので、福利厚生や等級が下げられたので、諸要求をまとめて団交を申し入れることにした」などの報告が行われ意見交換を行いました。(東京支部書記長 谷口 利男)